

Could you enjoy fashion freely?

個を尊重するオーダーメイド。
心地よく無理しない服が良い。



「骨格診断」を取り入れたパーソナルオーダーの<エスプリローブ>新ラインを披露。補う機能性とファッション性で個性を確立する。単独で主催した『2017SS Collection』(2016.11/27 東京・Magritte with DaDa)より。

憧れのウェディング、
カラダのウイークポイントを
生かして補うスタイル。



鯉のぼりの生地を使用したドレス。キーワードは「成長・飛躍・輝き・勝負」。『2017SS Collection』より。モデル：日置有紀



一人ひとりと向き合い、本来持っている魅力を引き出す。ありのままの自分好きになっただけで願って。『2017SS Collection』より。



伝統工芸の鯉のぼり生地を使用した衣装を7点披露。『福岡アジアコレクション 2017 (FACo)』(2017/3/18 福岡国際センター)より。



自分に合ったスタイルを導き出すと共に、
自分らしく人生を生きるために。

服は身体にあわせて変えていけるのです。着やすさの工夫を施した(上)レインコート・マグネットボタン付。(下)前開きパンツ。

「障害者服デザイナー」、その呼び名に違和感がある。着る人も同じ。障害者のためのファッションではなく、あなたという一人の人のためのファッションとは――。

サポートが必要な人、いてくれた方が助かる人がいて、解決できる方法を考えながら服をつくる。胸のボタンは留まるけどお腹のボタンが留まらないでしょう、それと同じ。一人ひとりが持つ課題を解決しながらデザインをつくる。

障害、健常は関係ない。バリアフリー、ユニバーサル、その他諸々：ファッションに冠は必要ない。ファッションはファッション。冠を付ける必要ない包容力がある。多様性を！共生社会を！と、声を張り上げるより、ただ普通に、当たり前と一緒に過ごせばいい。向き合う一人ひとりを大切にすればいい。それをだまっつと続けられたい。誰かと比較する必要もない。

あなたはありのままいてください。ありのままの自分を好きでいられるファッションを私は作ります。誰もが完璧な左右対称の体は持っていない。オーダーだったら、右と左それぞれの形状に合わせて仕立てられる。サイズと素材とデザインが身体に合うものを着た時の、内側から醸し出す上質な雰囲気は言葉が出ないほど惹きつけられる。

着るものは、あなた自身を映し出す。ファッションは、生き方をも変えるのです。



車イスとモデルとドレス、
どれかが主張する訳でなく
自然とお互いが寄り添うような
素敵な雰囲気大切にしたい。

鈴木 綾：アトリエ エスプリローブ・代表

「エスプリローブ」は、エスプリ（仏語：魂・精神）とローブ（仏語：衣服）を組み合わせた造語で、「思いを込めた服作り」を意味。「骨格診断」による、感覚ではなく理論的に、一人ひとりに合ったスタイルを導き出すと共に、自分らしく人生をおくるための服作りを推進している。オーダーメイドからオリジナル商品の開発。「車イスでお買い物ツアー」「鯉のぼりデザインコンテスト」を開催するなど、イベント企画運営を行なう。

2011年、神奈川県横須賀市にて「アトリエ エスプリローブ」を開業。現在、福岡市在住。香蘭ファッションデザイン専門学校、麻生医療福祉専門学校の非常勤講師。一般社団法人未来アスリート発掘・スポーツ推進協会の理事。車イスファッションプロデュースを主宰するなど、車イスのファッションデザイナーも育成中。

〒810-0022 福岡市中央区薬院 2-16-1

HP：https://espritrobe.com/



会場で車イスモデルが登場した時、一瞬ガワツとした。その後、笑顔で大きく頷く人もいた。そう、ファッションは誰のものでもある、当たり前と言わんばかりの温かい空気感に包まれた。

『心のバリアフリー・ファッションショー』(2018.6/1 埼玉県・イオンレイクタウン Kaze イオンホール) に衣装製作で参加。ヘアメイク・原田忠（資生堂トップヘアメイクアップアーティスト）／モデル・（左）日置有紀（右）あやなな

